

《厳しい就職環境！》

《求人提出にご協力を！》

平成22年度大学等卒業者の就職内定状況等について

岐阜労働局では、岐阜県における今春卒業の大学生・短大生（以下「学生」という。）に係る10月1日現在の就職内定状況を取りまとめた。

求人は、日本経済が円高や株安などによる景気の先行き不透明感から、昨年度よりも2割～3割程度減少している中、就職内定者数は、企業の採用選考基準が厳しいことや県外の大学等で学んでいる岐阜県出身の学生が、岐阜県の中小企業等へ例年より多く応募していることから、競争率が高くなったことが影響し、昨年度より8.7%減(159人)減少したため、就職内定率は、昨年度より1.5ポイント低下した。

このように、依然として厳しい就職環境であることから、岐阜労働局では、「岐阜新卒者就職応援本部」構成機関である産業界、労働界、中部経済産業局、地方公共団体、ハローワーク等と緊密に連携して取り組む「ぎふ新卒支援宣言」（別添参照）を発表し、岐阜新卒応援ハローワークによる新規学卒者及び既卒者（以下「新規学卒者等」という。）と中堅・中小企業との積極的なマッチングに重点を置きつつ、支援を実施しているところです。

【就職内定状況の推移】

県内の大学・短大（以下「大学等」という。）の平成23年3月卒業予定者の10月1日現在の状況について、就職内定率は37.1%で前年同期に比べ1.5ポイント低下した。

これは、就職内定者数では、

昨年度に引き続き、企業の採用選考基準が厳しいこと

県外の大学等で学んでいる岐阜県出身の学生が、岐阜県の中小企業等へ例年より多く応募していることから、競争率が高くなったこと

等の要因により1,675人と前年同期に比べ8.7%の減少となったため、就職内定率は昨年度より低下した。

【今後の見通しと対策】

今後は、専門職種による就職を希望している学生、特に介護福祉関係の学生においては、2月頃に国家試験があるため、年明け頃から活動が活発化し、採用内定を得る学生が増加することから就職内定者数は増加するものと思われる。

しかしながら、専門職種以外により就職を希望している学生については、求人の減少もあって、厳しい状況が予想される。

このため、岐阜労働局及びハローワークでは、去る9月24日に開設した「岐阜新卒応援ハローワーク」やハローワーク岐阜・大垣・多治見・高山・関・美濃加茂・中津川に配置した大卒就職ジョブサポーターが、県内の大学等を担当者制により、

大学等を訪問し、学校での未内定学生との個別職業相談を実施
ハローワークの窓口では、学生就職支援システムを活用し全国の求人情報の提供や個別職業相談を実施

大学等からの依頼による求人開拓

大学等又は岐阜新卒応援ハローワークでのミニセミナー（面接指導、履歴書の添削等）の開催

新卒者企業実習推進事業（新卒インターンシップ事業）を活用の働きかけを実施しつつ、支援をしている。

1 就職状況等の概要について

【大学・短大】（別添の【表1】参照）

- (1) 卒業予定者数は、5,497人で前年同期に比べ7.0%減少。
 - (2) 就職希望者数は、4,515人で前年同期に比べ5.0%減少。
 - (3) 就職内定者数は、1,675人で前年同期に比べ8.7%減少。
 - (4) 未内定者数は、2,840人で前年同期に比べ2.7%減少。
 - (5) 就職内定率は、37.1%で前年同期に比べ1.5ポイント低下。
- 《参考》平成22年3月末の就職率は、91.1%であった。

【大学】（別添の【表2】参照）

- (1) 卒業予定者数は、4,014人で前年同期に比べ3.9%減少。
 - (2) 就職希望者数は、3,224人で前年同期に比べ1.7%減少。
 - (3) 就職内定者数は、1,200人で前年同期に比べ7.3%減少。
 - (4) 未内定者数は、2,024人で前年同期に比べ2.0%増加。
 - (5) 就職内定率は、37.2%で前年同期に比べ2.3ポイント低下。
- 《参考》平成22年3月末の就職率は、90.5%であった。

【短大】（別添の【表3】参照）

- (1) 卒業予定者数は、1,483人で前年同期に比べ14.4%減少。
 - (2) 就職希望者数は、1,291人で前年同期に比べ12.3%減少。
 - (3) 就職内定者数は、475人で前年同期に比べ11.9%減少。
 - (4) 未内定者数は、816人で前年同期に比べ12.5%減少。
 - (5) 就職内定率は、36.8%で前年同期に比べ0.2ポイント上昇。
- 《参考》平成22年3月末の就職率は、92.2%であった。

この調査は、岐阜県内の大学等24校が、学生からの報告等により把握している状況等について、大学等の協力を得て岐阜労働局が把握し取りまとめたものです。

なお、厚生労働省及び文部科学省が公表している「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」は、抽出調査として実施しており、調査方法等が異なることから、この調査と直接数値を比較できるものではありません。

2 大学・短大別の就職状況等の特徴について

(1) 大学

就職内定率は37.2%で前年同期に比べ2.3ポイント低下となっている。この要因は、専門職種以外により就職を希望している学生について、求人の減少に加え昨年度と同様に、

企業の採用選考基準が厳しいことから就職内定者数が減少したためであり、全体の就職内定者数は1,200人と前年同期に比べ7.3%減少となったことによる。

求人の減少は、景気の先行きが不透明であることが影響し、最小限の補充に止める企業が見受けられるためであり、昨年度と同様に、中部地区や関東地区からの求人が減少している。

(2) 短大

就職内定率は36.8%で前年同期に比べ0.2ポイント上昇となっている。

就職内定者数については、

ア 専門職種の業界で、

- ・ 企業の業績不振により離職した方が他の企業に再就職するため、新規学卒者の採用枠が減っている
- ・ 就職した方の定着率が上昇し、離職者が減っている

という状況が見受けられる。

イ 昨年度に引き続き、事務・販売職は最小限の補充となっている。

等から求人が減少し、応募者の競争倍率が高くなるとともに、採用基準が厳しくなっているため採用内定が得られにくくなり、就職内定者数は減少している。

専攻課程の学年延長が行われたことにより就職希望者数が減少したため、就職内定率は前年同期に比べ0.2ポイント上昇となった。

(参 考)

- 1 就職希望者数は、大学・短大等又はハローワークの紹介により就職を希望する学生の状況を取りまとめたものである。
- 2 平成23年3月大学等卒業者の採用内定開始時期は、「大学卒業予定者・大学院修士課程修了予定者等の採用選考に関する企業の倫理憲章」において、次のとおり定められている。

・大学・短大等 平成22年10月1日以降

3 調査時期及び発表時期

【調査時期】	【発表時期】
10月1日	11月中旬
11月末	1月中旬
1月末	3月中旬
3月末	5月中旬

4 3年以内既卒者対象奨励金活用状況

(1) 3年以内既卒者トライアル雇用奨励金

求人数：1,327人

紹介者数：312人

開始者数：26人

(2) 3年以内既卒者(新卒扱い)採用拡大奨励金

求人数：132人

紹介者数：8人

就職者数：1人

平成23年3月新規大学等卒業者の就職状況(岐阜県)

(大学・短大)

【平成22年10月1日現在】

【表1】

平成21年度 (平成22年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	未内定者数	就職内定率(%)
	5,910	4,752	1,834	2,918	38.6
平成22年度 (平成23年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	未内定者数	就職内定率(%)
	5,497	4,515	1,675	2,840	37.1
対前年度比(%、P)	7.0	5.0	8.7	2.7	1.5

(大学のみ)

【平成22年10月1日現在】

【表2】

平成21年度 (平成22年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	未内定者数	就職内定率(%)
	4,178	3,280	1,295	1,985	39.5
平成22年度 (平成23年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	未内定者数	就職内定率(%)
	4,014	3,224	1,200	2,024	37.2
対前年度比(%、P)	3.9	1.7	7.3	2.0	2.3

(短大のみ)

【平成22年10月1日現在】

【表3】

平成21年度 (平成22年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	未内定者数	就職内定率(%)
	1,732	1,472	539	933	36.6
平成22年度 (平成23年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	未内定者数	就職内定率(%)
	1,483	1,291	475	816	36.8
対前年度比(%、P)	14.4	12.3	11.9	12.5	0.2

上記就職状況は、各年度の同時期における数値である。

公表については、平成22年3月卒業者の平成22年3月末現在(前年同期の就職状況を含む)から集計を開始した。

ぎふ新卒支援宣言

岐阜新卒者就職応援本部

【新卒者の就職環境】

平成23年3月卒業者の就職環境については、求人数が前年度から半減した平成21年度をさらに下回るなど厳しい状況にある中、10月現在の就職内定率についても

- ・ 大学生：約40%
- ・ 高校生：約50%

と引き続き大変厳しい状況となっております。

【趣旨】

新卒者の就職環境を踏まえ、「岐阜新卒者就職応援本部」では、新卒者が未就職のまま卒業することは、職業能力を高めて成長する可能性を大きく損なうとともに、人口減少社会を迎えるわが国の産業や社会にとっても大きな損失となることから

- ・ 正社員として働きたいという新卒者等の切なる声に応えること
- ・ 新卒者が正規雇用者として就職できること

を目指します。

「岐阜新卒者就職応援本部」は、卒業後3年以内の既卒者で就職活動中の方を含む新卒者が、1日でも早く就職できるよう本部構成機関が緊密に連携し、総力を挙げて以下の支援施策に取り組みます。

新卒者及び既卒者への支援施策

求人の確保・採用拡大

中堅・中小企業とのマッチング

重点分野雇用創造事業の実施

企業への「卒業後3年以内既卒者の新卒扱い」等の周知

保護者への働き掛け

合同企業説明会の開催

支援施策の詳細な取組については、裏面をご覧ください。

岐阜新卒者就職応援本部構成機関では、以下の取組等により、連携して新卒者及び既卒者への支援を実施します。

岐阜新卒者就職応援本部

県内企業へ「卒業後3年以内の既卒者を新卒扱いとする施策」、求人依頼、奨励金に係る周知文の送付
青少年雇用機会確保指針（改正後）の周知

経済団体

構成企業への求人確保・採用拡大等の働き掛けを要請

岐阜労働局及びハローワーク

ジョブサポーターを増員し、積極的な求人開拓により求人の確保・採用拡大
岐阜新卒応援ハローワークを設置し、個別就職支援及び中堅・中小企業とのマッチングの強化
岐阜新卒応援ハローワーク以外のハローワークにおいても個別就職支援を実施
新卒者企業実習推進事業（新卒インターンシップ事業）を活用したインターンシップの実施支援
3年以内既卒者トライアル雇用奨励金、3年以内既卒者（新卒扱い）採用拡大奨励金を活用した求人の確保・拡大
臨床心理士による心理的相談の実施
学校での高校内企業説明会の開催に協力

中部経済産業局

Web等を活用した中小企業とのマッチングの促進
・ 中小企業の求人開拓及びインターネット求人サイト等を活用した支援
中小企業団体等による半年間のインターンシップの提供（新卒者就職応援プロジェクト）
雇用意欲企業への魅力発見ツアーの実施

岐阜県

重点分野雇用創造事業の実施
・ 緊急雇用創出事業臨時特例基金に35.3億円を積み増し、複数年度（22年度～23年度）にわたる事業計画に基づき、20億円の緊急雇用対策を追加して、若年者の新規雇用創出及び成長分野への円滑な労働力移動につながる事業を今年度から実施
中小企業魅力発見ツアーの実施

大学・短大等

学校内に大卒就職ジョブサポーターによる個別職業相談窓口の設置
未内定学生を持つ保護者への啓發文書の発出
キャリアカウンセラー等の増員による就職支援の強化

高校

未内定生徒を持つ保護者への啓發文書の発出
高校内企業説明会の開催に当たって、保護者への参加呼び掛け

岐阜労働局・岐阜県・岐阜県教育委員会・岐阜県学生就職対策連絡協議会

平成23年3月新規学校卒業者等合同企業説明会の開催

<開催例>

- ・ 日時：平成22年11月10日（水） 12:30～16:00
- ・ 場所：岐阜市文化センター 1階催し広場
- ・ 対象者：平成23年3月高校、大学、短大等卒業予定者
卒業後3年以内の既卒者（平成20年3月以降の卒業で、現在、就職活動中の方）